

小中学校耐震診断結果

H27. 12. 1現在

小学校	学校	校 舎				体育館		
		棟	Is値	種別	補強	Is値	種別	補強
	高麗	中	0.27	3次診断	済	0.11	2次診断	済
		東	0.63	3次診断				
	高麗川	中央	0.38	2次診断	済	0.08	2次診断	済
		西	0.51	2次診断				
		東	0.32	2次診断				
		東北	1.02	2次診断	不要			
	高萩	北	0.62	2次診断	済	0.08	2次診断	済
		南	0.68	2次診断				
		西	0.56	2次診断				
		東	0.35	3次診断				
	高根	北	0.37	3次診断	済	0.20	2次診断	済
		東	0.28	3次診断				
		西	耐震基準クリア					
	高萩北	東	0.49	2次診断	済	0.15	2次診断	済
		西	0.38	2次診断				
	武蔵台	北	0.47	2次診断	済	0.50	2次診断	済
		中	0.42	2次診断				
		南	0.64	2次診断				
南西		耐震基準クリア						
計(棟)	19				6			

中学校	学校	校 舎				体育館		
		棟	Is値	種別	補強	Is値	種別	補強
	高麗	南	0.49	2次診断	済	耐震基準クリア		
		北	0.30	2次診断				
	高麗川	北	0.23	2次診断	済	0.16	2次診断	済
		南	0.30	2次診断	済			
	高萩	南	0.42	2次診断	済	0.22	2次診断	済
		中	0.61	2次診断				
		北	0.61	2次診断				
	高根	北	耐震基準クリア			耐震基準クリア		
		南						
	高萩北	南	耐震基準クリア			耐震基準クリア		
		北						
	武蔵台	南	耐震基準クリア			耐震基準クリア		
北								
計(棟)	13				6			

※ 小中学校 校舎+体育館 合計 = 44 棟 (2階未満かつ200㎡以下の棟を含みません。)

※ 現時点の耐震化率 44/44 = 100. 00%

- Is値

建物の耐震性能を表す指標を構造耐震指標 Is値 (Seismic Index of Structure) といいます。建物の耐震性能を棟、階ごとに表す指標で、その値が大きいほど耐震性が高く、過去の震害例との関係から目標性能を定めています。1次診断では0.8以上、2次以上の診断では0.6以上であれば、被害が軽微とされています。学校建物では、安全を考慮して割り増しする場合が多く、当市では2次診断で 0.75以上を目標値としています。表記した数値は、棟ごとの最低値です。
- 耐震1次診断

主に延べ床面積に対する鉛直部材(柱、壁)の断面積の値から耐震性を判断する方法で、一度に多くの建物の概略な診断をする場合や、改築や補強を行わない場合に適する比較的簡易な耐震診断です。
- 耐震2次診断

文部科学省「公立学校建物の耐震診断実施要領」に規定された方法で、一定の基準に基づいた詳細な診断です。
- 耐震3次診断

2次診断に加えて、より詳細な分類を行って、耐震性を判断する方法です。公立学校建物の耐震診断においても、対象建物の崩壊形式等により、第3次診断を実施する場合があります。